



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社プロスペクト
代表者名 代表取締役社長 カーティス・フリーズ
(コード番号 3528 東証 2 部)
問合せ先 代表取締役常務 田端 正人
(TEL 03-3470-8411)

平成 28 年 3 月期の通期業績と前期の通期業績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期の通期業績（以下、当期業績）と、平成 27 年 3 月期の通期業績（以下、前期業績）との差異について、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は平成 28 年 3 月期の業績予想を開示していないため、前期業績との差異の説明を行うものであります。

記

1. 当期業績と前期業績との差異

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績と前期連結業績との差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期連結業績 (A)	16,621	958	1,033	816	7 円 11 銭
当期連結業績 (B)	16,724	386	273	7	0 円 05 銭
増減額 (B - A)	103	△572	△760	△808	—
増減率 (%)	0.6	△59.7	△73.6	△99.1	—

(2) 平成 28 年 3 月期通期個別業績と前期個別業績との差異

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期個別業績 (A)	5,785	—	375	150	1 円 32 銭
当期個別業績 (B)	7,351	—	142	88	0 円 56 銭
増減額 (B - A)	1,566	—	△233	△62	—
増減率 (%)	27.1	—	△62.1	△41.3	—

2. 差異の理由

連結業績としましては、前期においては、主にアセットマネジメント事業において、平成 26 年中の運用成績が良好であったことから例年を上回るパフォーマンスフィー収入を計上するなどしましたが、当期においては、当社グループが保有する米国ドル建て資産等に係る為替差損や、子会社において保守的に計上した完成工事に係る引当金の影響等により、前期比で営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ減少いたしました。

個別業績としましては、不動産販売事業（土地建物）において高額物件の決済があったことなどから、売上高において前期に比べ増額となりましたが、当社が保有する米国ドル建て資産に係る為替差損の影響等により、経常利益および当期純利益がそれぞれ減少いたしました。

以 上